

## 令和3年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	9. 教育費	大事業	5. 考古及び民俗資料整理事業
項	5. 社会教育費	中事業	
目	2. 文化財保護費	担当所属	文化課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	5年間計画額	
經常	補助	計画	0	0	1,695	第3章 基本施策4 施策1	地域の資源を活かした活力と賑わいのあるまち（産 業・観光・文化）	-
							文化・芸術振興	-
							歴史・文化資産を保全・活用します	-
								-
								-

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額	180	
本年度当初査定額	180	6,656

財源内訳	国庫支出金	県支出金				その他	一般財源
本年度当初要求額	0	0				180	△180
本年度当初査定額	150	30				0	6,476

<事業に関する説明>

(事業の概要) ・資料の台帳化 ・資料修復・保存処理 ・資料撮影と写真資料のデジタル化 ・収蔵場所の維持管理 ・収蔵資料の展示	(事業の目的) ・考古・民俗資料は、市内外の教育機関・研究者からの 問合せ、貸出依頼、市内小学校での総合学習での活用等、その要望に適 切かつ迅速に対応するために、資料の整理・修復を行います。 ・市内各施設における資料の貸出展示等依頼にも積極的に応じます。 ・国庫補助事業関連の出土品の台帳化を進めます。	(事業の効果) ・市民の財産である文化財をより良好な状態で保管し、 必要に応じて活用できる状態にします。 ・学校教育・公民館等でそれらを活用することによって、市民が地域の 歴史・文化に親しみやすくします。 ・佐倉市の歴史を市民、佐倉市を訪れた方にアピールでき、市への愛着 、理解を深めることができます。
(事業実施上の問題点) ・終了した発掘調査の資料移管が見込まれます。 ・民間事業に伴う埋蔵文化財調査は途絶えることがありません。そのため、中長期的には文化財収蔵庫の収納余地に不足が生じることが予想され れます。 ・既存の収蔵庫は文化庁基準では仮設であり、老朽化が進んでいます。	(前年度からの見直し点) ・会計年度任用職員制度に対応しました。 ・修繕料を計上しました。	(見積についての特記事項)

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
01	3,670	5,504	△1,834
03	780	776	4
08	312	468	△156
10	747	694	53
11	209	234	△25
12	938	1,052	△114

節	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
	16	02	06	04	01	00	国宝重要文化財等(市内遺跡発掘調査)保存整備費	150	150	150	0
	17	02	07	02	01	00	文化財保存事業(埋蔵文化財緊急調査)補助金	30	30	30	0
差引一般財源								△180	6,476	△180	6,656